

鹿屋の未来を語り合う



～『“本気”で語ろう会』をスタート～

市では、「市民が主役」のまちづくりの実現に向けて、市民の皆さんの知恵やエネルギーを生かしながら、皆さんと一緒に共生・協働のまちづくりを推進しています。このような中、7月からは市民と市長が本音で鹿屋の未来を語り合い、政策に生かすことを目的とした「本気」で語ろう会をスタートし、様々なテーマで参加者の皆さんから多くのご意見をいただいています。

「本気」で語ろう会については、これまで広報かみや、市ホームページ等でお知らせしていますが、

- ① 仲間同士で検討しているテーマについて語る「公募型」
- ② 市政全般や住んでいる地域について語る「地域型」
- ③ 各種団体等でまとめた意見、提言等について語る「組織・団体型」の3つの型で実施する計画です。

今回は、7月から10月にかけて開催している「本気」で語ろう会（公募型）の内容の一部をご紹介します。

【問い合わせ】市広報広聴課 ☎ 0994-31-1123

「本気」で語ろう会（公募型）開催スケジュール

No.	グループ名	日程	場所	テーマ	参加者
1	鹿屋の漁村を盛り上げる会	7月1日	鹿屋市漁協	①漁協の町「古江地区」の活性化について ②漁業の経営、将来展望について	17人
2	田崎校区を考える会	7月4日	川西公民館	校区、地域を考える	約90人
3	JTNM(人生楽しんでなんぼのもんじゃい!)実行委員会	7月15日	ライダーハウス プラグ・ポイント	地域振興、スポーツ	11人
4	まちづくりを応援する会	7月25日	市役所	まちづくりへの思いやアイデアについて	11人
5	住みやすい向江町を再生する会	7月28日	向江昭栄 自治公民館	①住民の衣食住を充実させる ②商店街の再生	25人
6	輝北キラキラ館運営協議会	8月12日 (予定)	上平房公民館	物産館を活用した過疎地域の活性化策について	—
7	修学旅行の民泊受入を行っているグループ	8月19日	中央公民館	民泊受入をととした地域振興について	—
8	輝北子育てサロンてるぽっく	10月23日	輝北総合 福祉センター	子育て環境・子育て支援について	—
9	串良まちづくり戦略会議			調整中	—

内容の一部をご紹介します

Q 海岸地区の活性化について
廃校となった古江・菅原小学校などをブルーツーリズムの宿泊施設として活用できないか。

A 市内には廃校が9校あるが、どのようにに活用するかが大事。一義的には地域の声を聞くことであるが、実際の活用としては、地域で出来ることがあれば活用していただきたいし、難しいければ、そのアイデアを行政で具体化していく方法がある。それでもうまくいかなければ、公募をかける方法も考えられる。



▲田崎校区を考える会

Q 工場の跡地利用について
田崎町のアルコール工場跡地は、臨時駐車場の利用だけでもつたいない。消防出初め式を始め、市開催のイベントを工場跡地に集約できないか。また、スポーツ広場として活用できないか。

A 日本アルコール産業株式会社としては、全敷地を一括で売却したいという考えがある。このため、まずは本市に進出したいという企業の情報収集を行い、何社かで分譲して利用するといった調整を、市が行う必要があると考えている。

跡地問題については、施設の老朽化等の問題もあるため、地域活力推進課で集中的にスピード感を持って行いたい。



▲鹿屋の漁村を盛り上げる会

高隈山について

Q 高隈山は自然の残された素晴らしい山。自然を残して整備し、もっと域外の人にもアピールしないといけない。そのため、高隈山の各種整備や取組の提案・要望を行いたい。

A 高隈山については私も鹿屋の宝と考えている。実は7月11日に「高隈フロンティア会議」を実施した。ぜひ、色々な方に登ってほしいが、上級・中級者向けなど各コースがある中で、すべてを縦走するのは難しいし、個人個人にあった登山の提案や、施設整備、ガイド育成も必要である。また、



▲人生楽しんでなんぼのもんじゃい! 実行委員会

若手の担い手育成について

Q 近年、高校等の土木建設専門の学級数も減り、若手を育てる環境が厳しい。若い子がいけないと、技術の継承も難しく、衰退していく。アドバイスが欲しい。

A 職安の方と話をして驚いたが、新卒の求人はあるが、仕事の内容が合わずに県外に出る人が多い。建設や農業が若い人たちにとって魅

トイレについては、今年の4月に1基設置した。

この会議の中で、高隈山の整備などについて検討していく。今秋にはデモツアーを計画しており、来年からはソフトやハードもやっていきたい。一過性でなく、色々なルート開発も含めて中長期的にやりたいと考えているので、ぜひ皆さんの声も聴かせていただきたい。反映できるものは行いたい。

その上で、高隈山の自然はしっかりと残しながら、高隈山の魅力を皆様にも味わっていただけるような施策に取り組みたい。



▲まちづくりを応援する会

力ある職場にならないと就職先として難しいと思うが、職を求めている若い人たちが、将来一本立ちをするため、5年から10年は下積みだという思いを持たない、と結局やめてしまい、その繰り返しになると思う。

県も国も、人材確保に努めており、組織的に業界全体で取り組む必要があるのではないかと考えている。一つは、子供たちに職場体験などで、作る喜びや、感謝される気持ちを体験させれば、興味や関心が出るのではないかと。色々な機会を捉えて、高校等とも連携して職場体験などを実施すれば良いと考えている。また、U・Iターンの人たちの人材確保も、併せてできればよいのではないだろうか。

※会議録は、市ホームページにも掲載してあります。